

新庁舎整備に関しては、これまで様々な検討・調査を行い進めてきました



★ 2019年5月に、市議会に「庁舎整備に関する特別委員会」が設置され、これまで 計38回の委員会が開催されています。

その一方で、事業費が増加したことに対し、市民や市議会から様々な懸念や意見が寄せられています

【 市民から寄せられた懸念・意見 】：市民の声、わたしの提言

	懸念事項	具体的な意見
1	整備の必要性	「新庁舎整備より〇〇を優先すべき」 「職員の執務環境の整備に惜しみなく千数百億もの公金を注ぎ込むことはおかしい」
2	財政負担	「熊本市の財政規模として過剰すぎる」 「市財政を懸念する」
3	必要規模	「DXの進展で自治体の在り方が根本から変わる中、規模や機能は今の計画でよいのか」
4	整備のあり方	「部署を分散してもいいのではないか」 「既存施設を活用し、建替えは最小限にすべき」
5	市民理解・説明責任	「住民投票などの民意を問う機会を一切与えず、押し通そうとする姿勢は許されない」

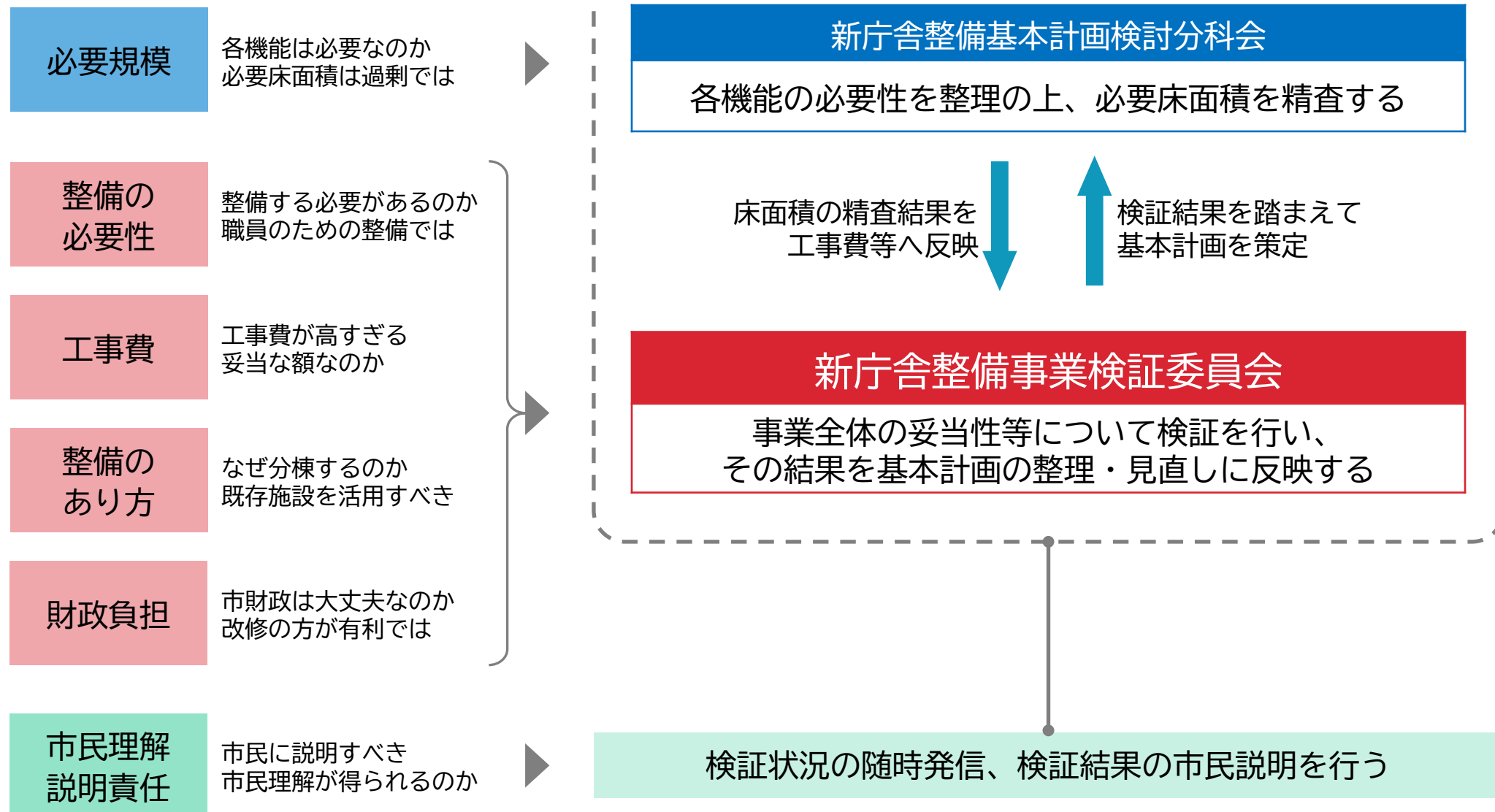
【 市議会（特別委員会）からの懸念・意見 】

	懸念項目	具体的な意見
1	財政負担	「事業費が増加することについて、財政的に問題ではないか」
2	工事費	「工事費の見込みが甘い」 「想定をはるかに超える金額」
3	必要規模	「これだけ単価が上がっている中では、もう一度、よく床面積を精査していただきたい」
4	市民理解・説明責任	「事業費が増えたことを説明すべき」 「市民の理解が得られるのか危惧する」

新庁舎整備事業について、市民や議会から寄せられた懸念や意見に応えるため、
専門家・実務家による検証の場を設けることとしました

疑問や意見

分科会と役割分担を図り、検証を進める



既存会議体による基本計画の整理と並行して、**検証委員会において事業全体の妥当性等を検証します**

